

エコトラック事業の推進を



西尾 寿博 議員

町長

気楽に参加できる 仕組みづくりを行う



大勢が参加できるコースづくりを

【西尾】 大山発の新しい観光スポーツであるエコトラック事業が始まる。

自転車走行の安全確保や専用道路の新設などはどうなっているか。

【町長】 看板での注意喚起や道路のブルーベルトの表示を行う。

自転車通行部分を設置することは、県道を含め、困難である。

【西尾】 鳥取県のジャパンエコトラック1号(大山線)との連携は。

【町長】 大規模なプロモーション活動や、周辺市町村との広域連携を

行いたい。

【西尾】 今後の事業展開によっては、多額の事業費とマンパワーが必要と考えるが。

【町長】 国の支援や民間事業者の協力を得ていきたい。

大山観光局に司令塔としてその役割を期待している。

【西尾】 大山の旧跡・名所・自然を、ゆつくりと自転車で満喫できるようにしてはどうか。

【町長】 普通の人が気楽に参加できる仕組みづくりを行う。

特色ある 子育て支援策の充実は



加藤 紀之 議員

町長

可能な限り展開したい

【加藤】 県の子育て支援策が充実するにつれ、各市町村の独自性は薄れる。

他の市町村がまねできない支援策で、子育て世代の移住定住に弾みをつけては。

【町長】 本町の支援策は充実しているが、少子化の流れは食い止められていない。

予算などの制約もあるが、可能な限り支援策を展開したい。

【加藤】 本町には多くの医療機関があるが、子育て世代の多くは町



新たな視点で子育て支援を

外の医療機関を利用していると思われる。

この世代に直営の診療所を利用してもらうことで、診療所の医療収入は増加し、一般会計からの繰り出し金が減る。

浮いた費用を窓口負担の軽減ではなく、商品券などの還付方式で医療費支援に回せないか。

【町長】 診療所の経営安定化策と支援策が結びつくのか、検討が必要だ。